

2025 年度 連続講座：ご案内

第 1 回

と き 6月15日（日） 午後1時半

ところ サンフォルテ 306号室

スピーカー 吉本博昭さん

ACT地域精神医療を推進して

吉本博昭さん 紹介

2011年にアイ・クリニックを開院し、必要な保健・医療・福祉サービスの大部分を、チームが責任をもって直接提供するACT（包括型地域生活支援プログラム）により、地域における精神科医療の道を切り開く。

当日は吉本さんにACTとの出会いや、地域精神医療をすすめてきた経緯、また海外の先進地といわれるイタリアやオーストラリアを訪ねたことなどを、具体的なエピソードを含めて話してもらいます。ぜひご参加ください。

高齢者生存組合

連続講座：「バトンをつなぐ ——未来につなぎたいもの」

戦後 80 年となる今年、2025 年。様々な分野で「記憶」、「記録」、「経験」、「遺物」、「遺産」などを次世代が「忘れない・つなぐ・のこす」ことが問われているように思います。

高齢者にとって、「次世代に、なにをどうつなぐのか？」は大きな課題です。

2025 年度、「高齢者生存組合」では、「**バトンをつなぐ—未来につなぎたいもの**」とは何かを明らかにすることをテーマにします。

「手渡すもの、手渡したいもの、手渡せないもの」を明確にしながら、さらに「社会を変える」運動について、あらためて検証したいと考えています。

ぜひご参加ください。

バトンをつなぐー未来につなぎたいもの

2000年に、障害者解放を積極的に進めるために、「自立生活支援センター富山」を開設した平井誠一さん、2011年に、アイ・クリニックを開院して、ACT（包括型地域生活支援プログラム）地域精神医療を推進した吉本博昭さん、1993年に、誰もが自宅で最後まで暮らせるように、富山型ディサービス「このゆびとーまれ」を開設した惣万佳代子さんをお招きして、活動分野の違いを超えて、『バトンをつなぐ』ということについて語ってまいります。

スケジュール

- | | | | |
|----|-----------|-----------------|-------|
| 1回 | 6月15日(日) | 吉本博昭さん | 306号室 |
| | | ACT地域精神医療を推進して | |
| 2回 | 7月13日(日) | 平井誠一さん Part1 | 305号室 |
| | | 自立生活支援センターを開設して | |
| 3回 | 9月14日(日) | 平井誠一さん Part2 | 305号室 |
| | | 若い人たちに伝えたいこと | |
| 4回 | 10月12日(日) | 惣万佳代子さん | 305号室 |
| | | 若い人たちに伝えたいこと | |
| 5回 | 11月16日(日) | | 305号室 |

再び話し手のみなさんに集まってもらい
「バトンをつなぐー未来につなぎたいもの」
について語りあいます。

場所：サンフォルテ 富山市湊入船町6-7

時間：午後1時半～4時 参加費+資料代 1000円

「すべての生の無条件の肯定」を

戦後 80 年となる今年 2025 年、私・たち「高齢者生存組合」は、富山で先駆的な医療・福祉の在り方を切り拓いてきた人たちを迎えて、連続講座・「**バトンをつなぐ——未来につなぎたいもの**」を企画しています。

6月15日(日)の「バトンをつなぐ・第1回」の集いでは、精神科病棟での長期入院ではなく、医師・看護師・ソーシャルワーカーがチームとなって、重い精神疾患を抱える人たちの生活を地域で支援するACT(包括型地域生活支援プログラム)を富山でいち早く導入・実践してきた吉本博昭さん(アイ・クリニック前院長・現理事長)を、話し手に迎えます。

今回、吉本博昭さんには、健康状態が必ずしも万全ではない中、快く話し手になることを引き受けていただきました。

できるだけ多くのみなさんにご参加いただければ、と思います。

高齢者生存組合 代表 埴野謙二

連絡先 〒930-0009 富山市神通町3-5-3
TEL 090-5174-5877 (榎谷)
URL : <https://net-jammers.net>
E-mail : jammers@net-jammers.net